

令和3年度 第6回玉垣小学校学校保健委員会及び学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年3月10日(木) 16:00~17:10

2 場 所 図書室

3 協議事項

(1) 本年度の取組(養護教諭、栄養教諭から報告)

【保健関係】

・ 本年度は水泳授業がなかった。あれば怪我が増えるだろう。

Q: コロナ禍でストレスを感じているなどで、食べられなかったり、急激に痩せたりした子はいないか。

A: 体重が大きく増加した児童はいる。

・ 保護者の都合により、しっかり食べられるのは給食だけという子もいる。子どもたちの健康管理をお願いしたい。

Q: 保健室の来室にはいろいろな症状が見られるが、子どもたちの消耗が大きいのか。また昨年度10月の来室者数が多いのは、オンライン学習明けが影響しているか。

A: 例年4月はそれほど多くない。子どもたちも様子を見ている。5月の連休が明けた頃から増え始め、夏休みが近づくと減少する。10月は9月のオンライン学習の影響もあると考えられるし、また残暑が厳しく、気候に慣れるのに時間がかかったのかもしれない。

Q: コロナで自宅待機になった児童に対して、ICTを活用して連絡をとることはできたのか。

A: オンラインで学習を受けた児童もいる。

・ 1週間の待機は、大人は何とかなるが、子どもにとってはつらいのではないか。そのあたりのフォローアップもお願いしたい。

【給食関係】

Q: 給食の残量は盛り方や個数によって変わってくるのではないか。

A: 1個の物も半分残す場合がある。残量は給食室に戻ってきた分を量っている。

Q: 今年はインフルエンザにかかる人は少なかったのか。

A: (学校医より) 全くいない。複数のウイルスはまん延しないという法則があるらしい。数年のうちにコロナがおさまってきたら、インフルエンザが流行するかもしれない。

Q: 給食にどれくらいの時間をかけているのか。時間に間に合わない子はいないのか。

A: 給食の時間は12時半から13時15分まで。実際に食べているのは20~25分くらい。ごちそうさまの時間に間に合わず、担任と一緒に食器を返しにくるのは、毎日1~2人くらい。子どもたちの苦手な献立のときには、4~5人くらいになる。

(2) 学校関係者評価について

・ 本年度は、なかなか教室の様子が分からなかった。中学校は5限目に参観をして、

運営協議会を行った。子どもたちの姿を見てからというのが良いと思う。

- ・ パソコンを使って課題に取り組む様子を見た。子どもたちが使えるようになるのはもちろん、サポートする学習ボランティアにも簡単な操作説明があるとよい。
- ・ 学習ボランティア、読み聞かせボランティアの活動期間は短かったが、来年度以降も、継続してご協力いただける方を募集予定である。
- ・ 学校に来たときの子どもたちからのあいさつが良い。交友関係の良さを感じている割合が高いことも、日頃の取組の成果である。
- ・ 地域の方々が、地域の子どもたちを育てているという熱い思いを感じる。

4 意見交換

(1) 通学路の安全について

- ・ 危険箇所を洗い出してきたが、どこまで改善されているのか気になっている。
- ・ 西玉垣の地下道については、自治会連合、地区市民センター、千代崎中学校PTA、玉垣小学校PTAが連携して働きかけ、関係者のご尽力により地元の方の了承をいただいた。3月末にはポールが立つ予定である。ポールなので車は止められるが、バイクは通る可能性がある。引き続き注意して通行することは必要である。
- ・ バイパスの工事についても、折々に工事関係者をお願いをしている。
- ・ 今回の通学路の課題は、地域の方のご協力でうまくいった。今後このようなことが起こったときに、PTA単独で対応するのは難しい。学校とPTAと地域が連携していくことが大切である。玉桜まちづくり協議会とも連携していけると良い。
- ・ 国道近くのコンビニで保護者の迎えを待っている児童や、田んぼに入っている児童も見かける。連れ去りや安全に気を付けてほしい。

(2) 校舎内のトイレの足型マークについて

- ・ 昨年度はペンキを塗ったが、今年はラミネートしたものを使用して、上から貼りたい。3月中に作業をして、新1年生をきれいなトイレで迎えることができれば、子どもたちも喜ぶのではないか。
- ・ 学校の職員作業の日を設定するので、それに合わせて可能な範囲で委員の皆さんにもご協力いただくということにしたい。

5 鈴鹿市教育委員会より

本年度最後の学校運営協議会にあたり、次の3点をお伝えしたい。

(1) 通学路の安全について

地下道にポールを設置する話は、先週の千代崎中学校でも報告があった。PTAと地域によって、長年の懸念事項が改善した好事例である。ポール設置が実現した際には、地域や保護者の協力で改善されたことや引き続き安全に登校しようということを、児童にも紹介してほしい。保護者や地域にも学校だよりなどで周知してほしい。

(2) 学校関係者評価について

委員の皆さんから寄せられた意見を、全てその通りにできるわけではないが、でき

るところから実行してほしい。学校運営協議会は、学校運営の基本方針を承認することが、最も大きな役割である。今回の評価が、来年度の学校の基本方針に反映されていなければならない。また、次年度の第1回学校運営協議会には、昨年度の評価を受けて改善する点を示していくことが大切である。

(3) 学校運営協議会の持ち方について

鈴鹿市内の学校には全て学校運営協議会がある。鈴鹿型コミュニティスクールの方針として、自主的な活動をめざすことのほかに、中学校区を取組を進めようというものがある。今、玉垣小学校と千代崎中学校は、両方の委員をしてくださっている方もおられるので、小・中合同で運営協議会をすることも考えられる。9年間を通しためざす子ども像を共有していくといった取組を進めてみてはどうか。